

花で彩る吉野川市の未来

~Edibleflower Ecosystem Challenge~

応募者

吉野川市役所 & 財務省徳島財務事務所

若手プロジェクトチーム



徳島県吉野川市について

1

- 人口約4万人の自然豊かなまち
- 地区ごとのゆかりの花を産業等へ活用



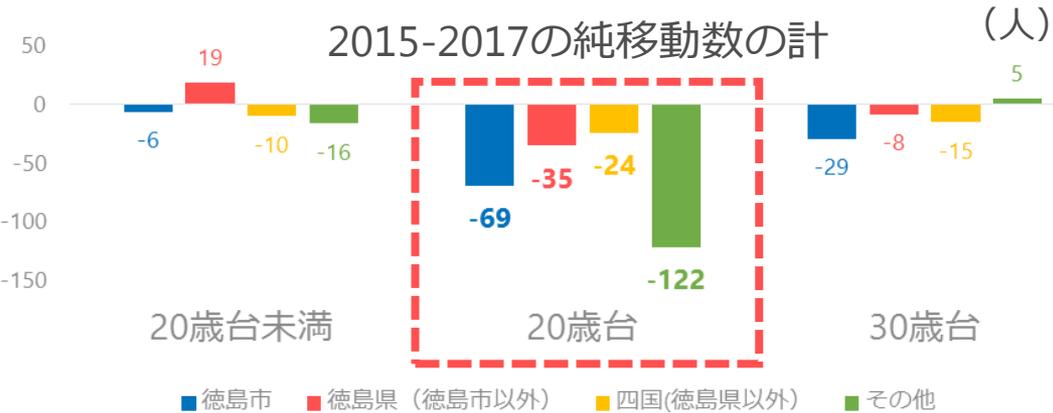
全国初の梅酒特区に選ばれた美郷の梅や大正時代から歴史ある大菊人形展など



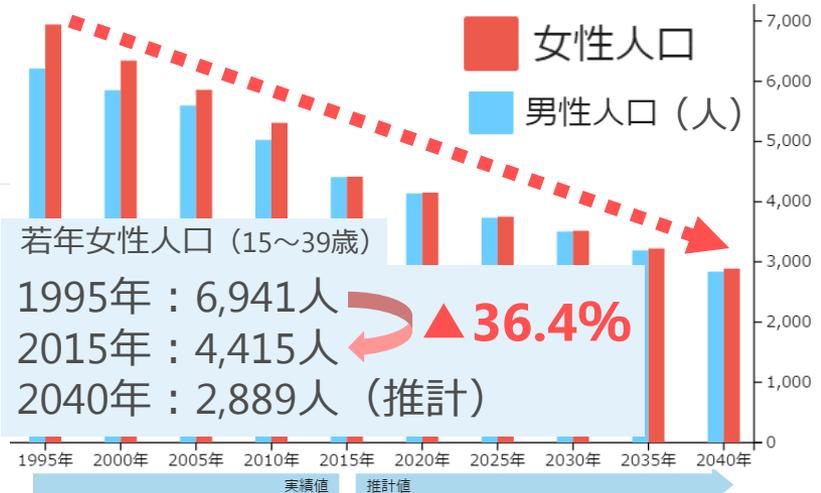
① 若年女性人口の減少と合計特殊出生率の低さ

RESAS From-to (定住人口) 若年女性人口

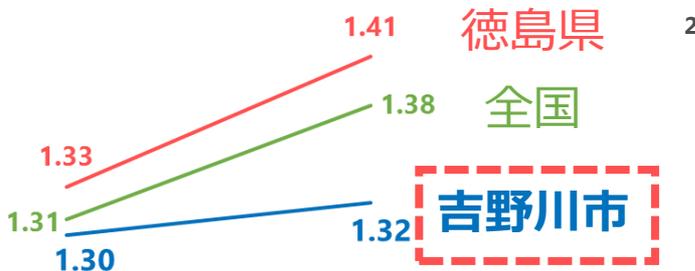
20歳台の女性の転出超過が主因



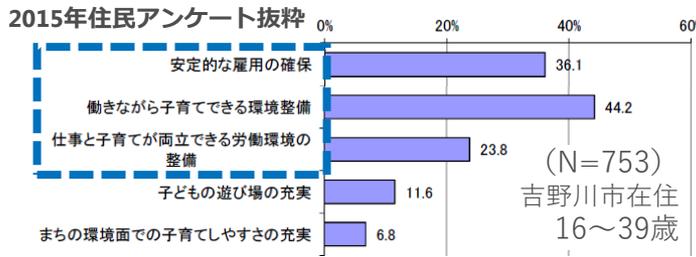
RESAS 若年女性人口 (15~39歳)



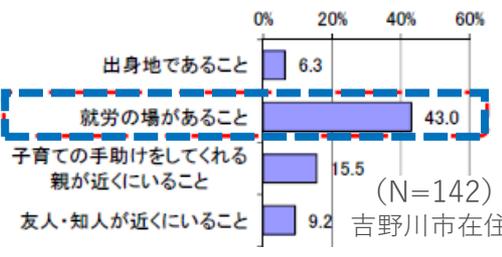
RESAS 合計特殊出生率



結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、必要な(だった)支援・対策



転出時の重要視項目 (16~39歳)

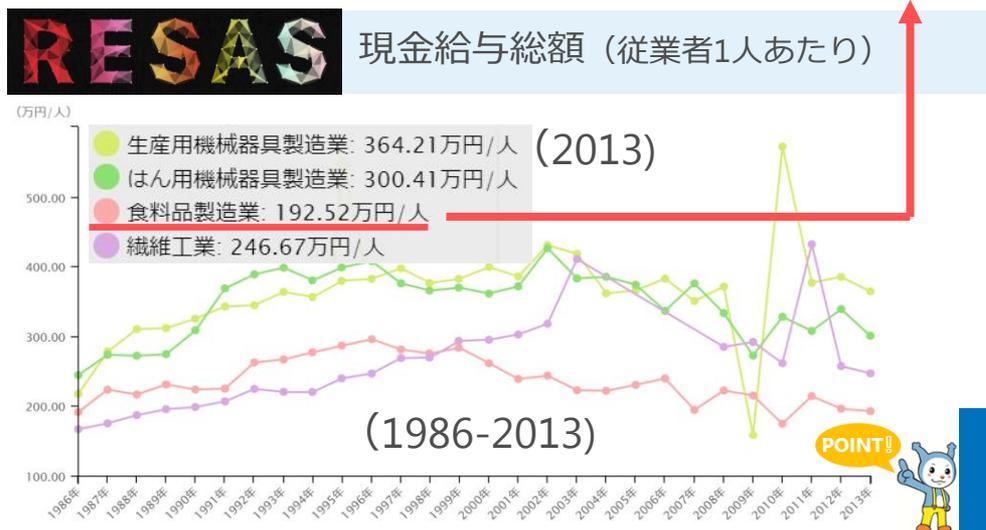
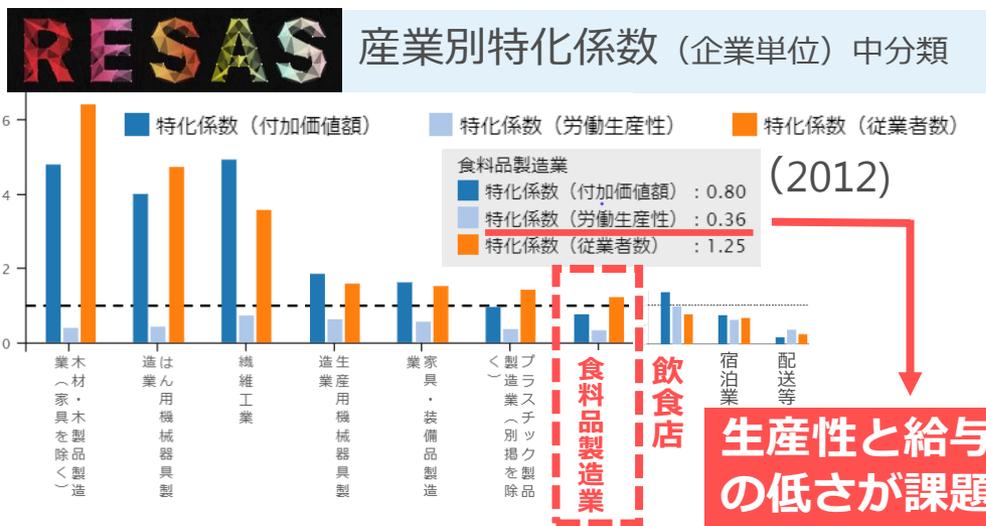


一部、人口動態統計特殊報告より作成
2003-2007年 2008-2012年

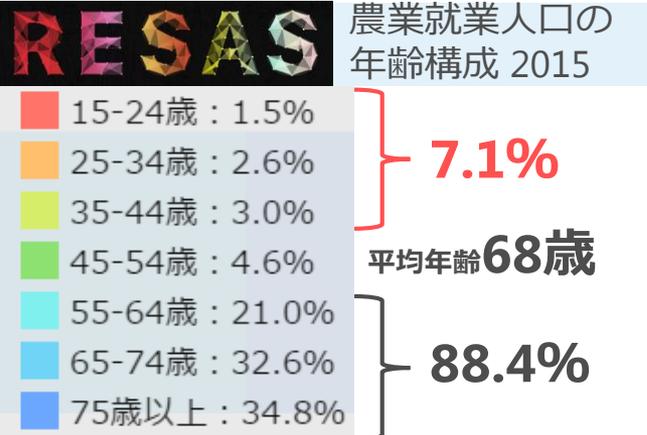
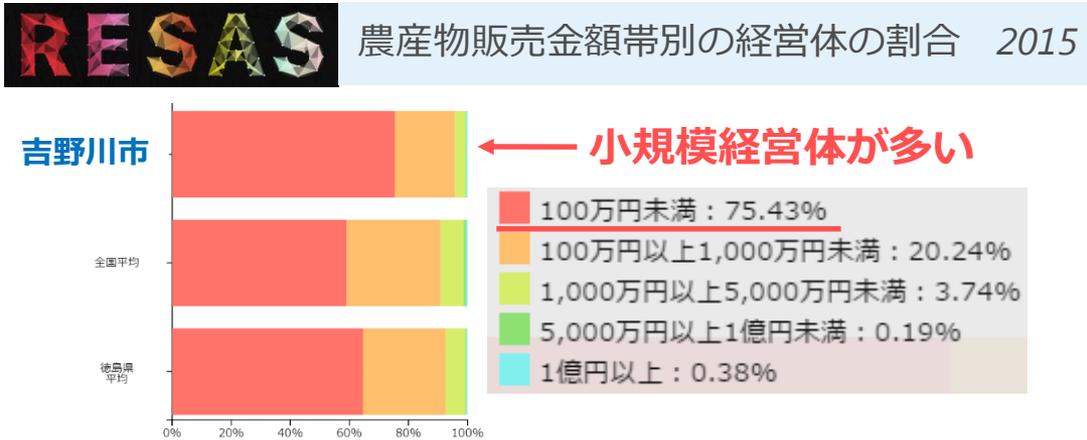


課題解決のキードライバーは、雇用創出

② 食料品製造業の生産性と給与の低さ



③ 若者の新規就農者の減少



年間延べ農作業日 2015
327,344人日
2010年から **▲30.1%**減少
(参考) 農業就業者数
1,330→1,228人
(2010→2015年) **7.7%**減少
出所) 国勢調査就業状態等基本集計



POINT!
稼げる農業へ転換するスキームが必要

エディブルフラワー（食用花）に着目 5

- パンジーなどの花を料理やスイーツに利用
- 注目度の向上に合わせ、市場拡大の可能性

edible flower（エディブルフラワー）



パンジー



マリーゴールド

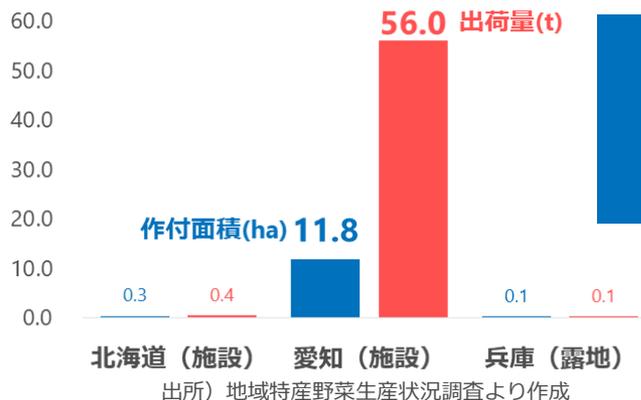


料理やスイーツに



画像）オーゲツ株式会社ホームページ

食用花の生産状況 2008年



認知・注目度向上中！
市場拡大が想定される



平成29年主なソーシャルメディア系サービス/アプリ等の利用率（全年代・年代別） 出所）総務省「平成29年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査 報告書」より作成

	全年代(N=1500)	10代(N=139)	20代(N=216)	30代(N=262)	40代(N=321)	50代(N=258)	60代(N=304)	男性(N=757)	女性(N=743)
LINE	75.8%	86.3%	95.8%	92.4%	85.4%	67.1%	39.8%	72.4%	79.3%
Facebook	31.9%	21.6%	52.3%	46.6%	34.9%	26.7%	10.5%	33.7%	30.0%
Twitter	31.1%	67.6%	70.4%	31.7%	24.3%	16.3%	5.9%	32.9%	29.3%
YouTube	72.2%	93.5%	94.0%	87.4%	80.4%	64.0%	32.2%	74.9%	69.4%
ニコニコ動画	18.9%	31.7%	34.7%	18.3%	15.3%	16.7%	7.9%	23.1%	14.5%
Snapchat	2.1%	5.0%	9.3%	0.8%	0.3%	0.0%	0.7%	1.3%	3.0%
Instagram	25.1%	37.4%	52.8%	32.1%	23.7%	14.7%	4.3%	19.4%	31.0%

キーとなるスタートアップ企業の存在 6

- LEDを活用した閉鎖型植物工場で栽培
- 柔軟な働き方が可能な植物工場の魅力

OI-GETS

オーゲツ株式会社

植物工場

阿波光菜

VGL
植物栽培用
LED

VGD
植物栽培
システム



画像) オーゲツ株式会社
ホームページ



オーゲツ(株)本社にて、大栗社長、池田様と、エディブルフラワー栽培事業について対話を重ねています。



POINT!



柔軟な働き方が可能で、子育て・介護中の人や障がいがある人の雇用先となり得る

- 廃校にエディブルフラワー栽培工場を誘致
- 商品加工・販売所等の6次産業化を目指す

エディブルフラワー・エコシステム・チャレンジ（EEC）

理科室：エディブルフラワー工場

・LED栽培閉鎖型植物工場
でエディブルフラワーを生産

教室：加工室

・エディブルフラワー加工品の
製作や加工

食堂：レストラン・カフェ

・エディブルフラワーを使用した料理やスイーツの提供

購買部：加工品販売所

・エディブルフラワー関連商品の試食、販売

屋上：ソーラーパネル



校長室：創業支援

・エディブルフラワー関連事業等の起業を支援

教室：コミュニティスペース

・住民等が自由に利用できるリースペース

パソコン室：エディブル商品開発室

・エディブルフラワーと特産品等のエディブル商品を開発

廊下：アート作品展示室

・花に関するアート作品の展示

体育館・プール：イベント会場

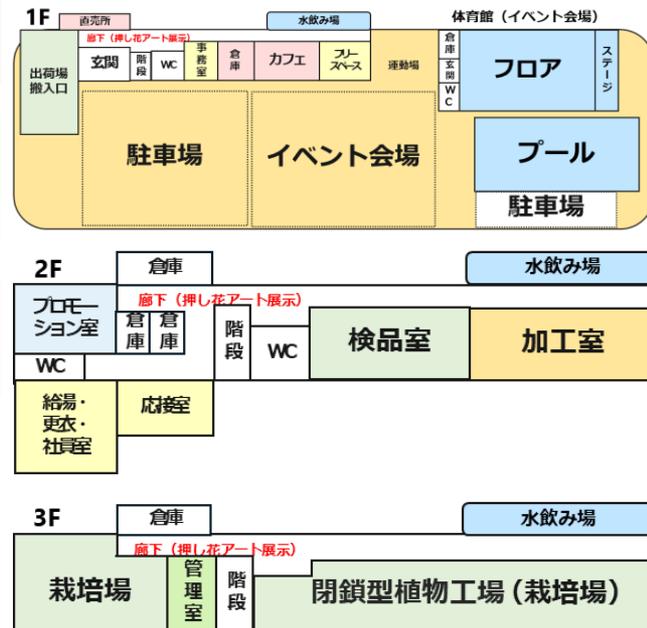
・エディブルフラワー関連のイベント開催

音楽室：プロモーション室

・エディブルフラワーや吉野川市のPR映像放送

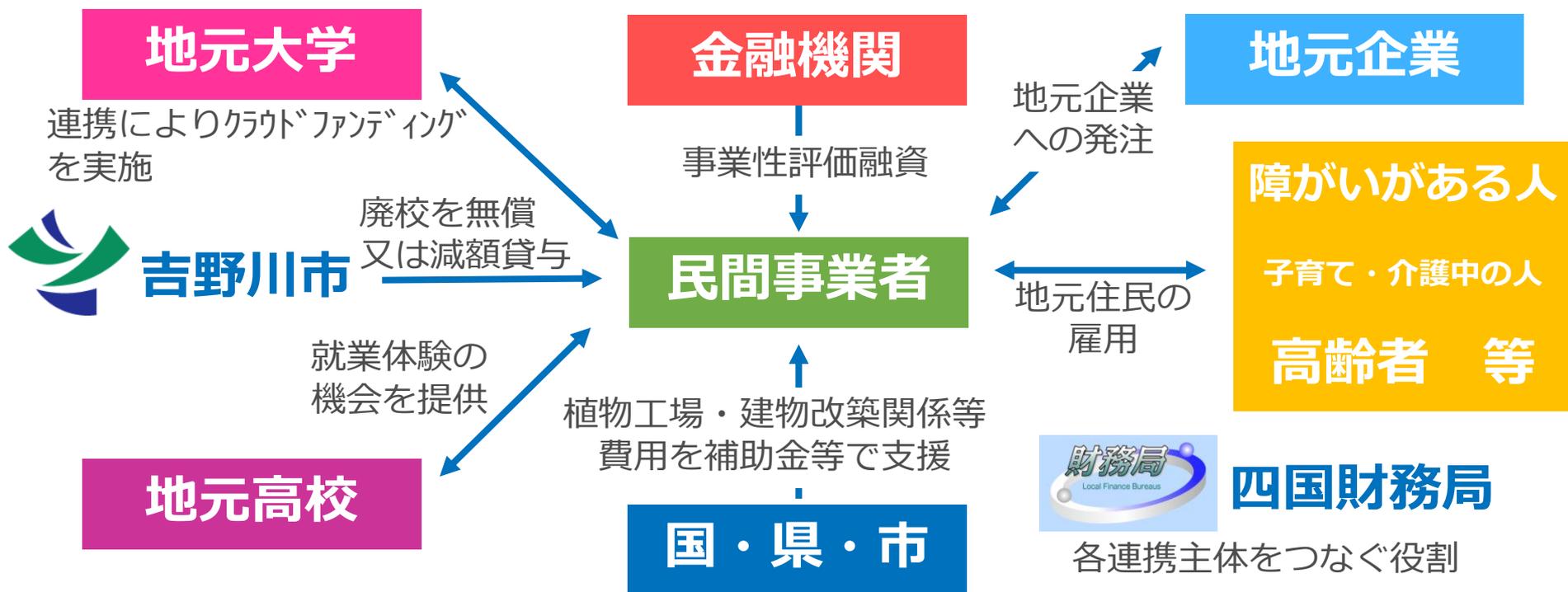
・各施設の電力使用に供給

廃校活用アイデア（平面図）



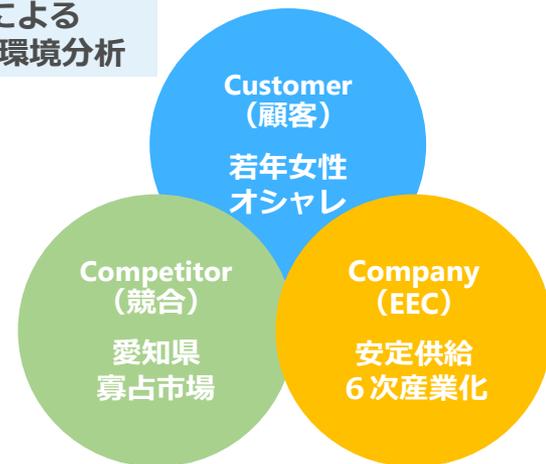
多様な主体が活躍できる雇用の場を創出。自走可能な施設を目指す。

- 事業者選定には、地域活性化の観点を重視
- 事業性評価融資やクラウト“ファンディング”を活用



○ 戦略の実行により、吉野川ブランドの構築へ。地元企業とのコラボや情報発信が重要。

3Cによる市場環境分析



PMマトリクス分析

		Product 製品	
		既存	新規
Market 市場	既存	市場への浸透 × ・寡占市場で愛知県がシェアのほとんどを占めており、同じ市場（顧客）に、既存の同価格の商品を投入した場合の市場への浸透は極めて困難。	製品開発 △ ・季節を問わずに栽培・安定供給が可能であるという強みを生かし、品種・出荷時期の差別化は可能であるものの、既存の卸売市場等への参入は困難。
	新規	市場の開拓 ○ ・四国はエディブルフラワーの流通が少なく未開拓地域であり、四国ローカル市場に注力。また、ターゲットを若年女性から全世代の女性へ拡大を目指す。	多角化 ◎ 四国ローカル市場の全世代の女性に市場を拡大し、特産品や伝統産業とのコラボなどによる6次産業化を推進。EEC施設をモデルケースとし、地元の食料品製造業や飲食店での活用を促す。

4P分析



吉野川ブランドの構築へ

Product 製品

パック商品の他、ドリンクや和・洋菓子に活用。特産品（梅酒）や伝統産業（阿波和紙）等とコラボを実施。

Price 価格

季節を問わずに栽培・安定供給が可能であり、細やかな計画生産や安心安全であることが付加価値となる。



Place 流通

パック商品は、飲食店やホテルへ。加工品は、EEC施設での販売や、地元商店街への新規出店を支援。

Promotion プロモーション

市の広報・ブランド化チャンネルの活用に加え、ふるさと納税の活用や、youtube等を活用した情報発信動画の制作等。

- EECが核となる共創で、価値創造や課題解決
- 各主体が連携するオープンイノベーションを構築

メインターゲットは女性。商品開発や販売促進では、消費者ニーズを敏感に掴みとる女性ならではのセンス等が必要。

- ・金融仲介機能の発揮による事業性融資の増加
- ・女性の起業支援等のノウハウ向上を通じた新たな市場開拓

- ・経済的価値の獲得
- ・企業価値の向上
- ・従業員の新たな雇用先の確保

- ・クラフトファンディングへの挑戦
- ・就職の選択肢
- ・高大接続

地域の将来を担う人材の育成につながる。

- ・就業体験
- ・就職の選択肢
- ・地域愛着心の醸成
- ・エシカル消費の学び
- ・高大接続

- ・産業振興による税収増や多様な主体の雇用促進
- ・廃校利活用
- ・市のプロモーション

- ・新メニュー開発による付加価値の向上
- ・女性経営者による開業
- ・交流人口増加による顧客増
- ・エシカル消費の浸透による地産地消

- ・イベントの開催等で交流人口が増加し、商店街活性化
- ・エディブルフラワー関連の新店舗開業や市のプロモーション等による商店街のブランド価値向上
- ・エシカル消費の浸透による地産地消

エディブルフラワーとのコラボ商品で付加価値向上。新店舗開店やイベント開催等による交流人口の増加で商店街活性化へ。

- ・食料品製造業での付加価値向上
- ・特産品（梅酒）や伝統産業（阿波和紙）等とのコラボによる新たなビジネスチャンス
- ・廃校活用時の資材の発注等
- ・エシカル消費の浸透による地産地消

- ・多様な主体の雇用の場
- ・新たな働き方によるWLB充実
- ・地域コミュニティの活性化
- ・エシカル消費の浸透

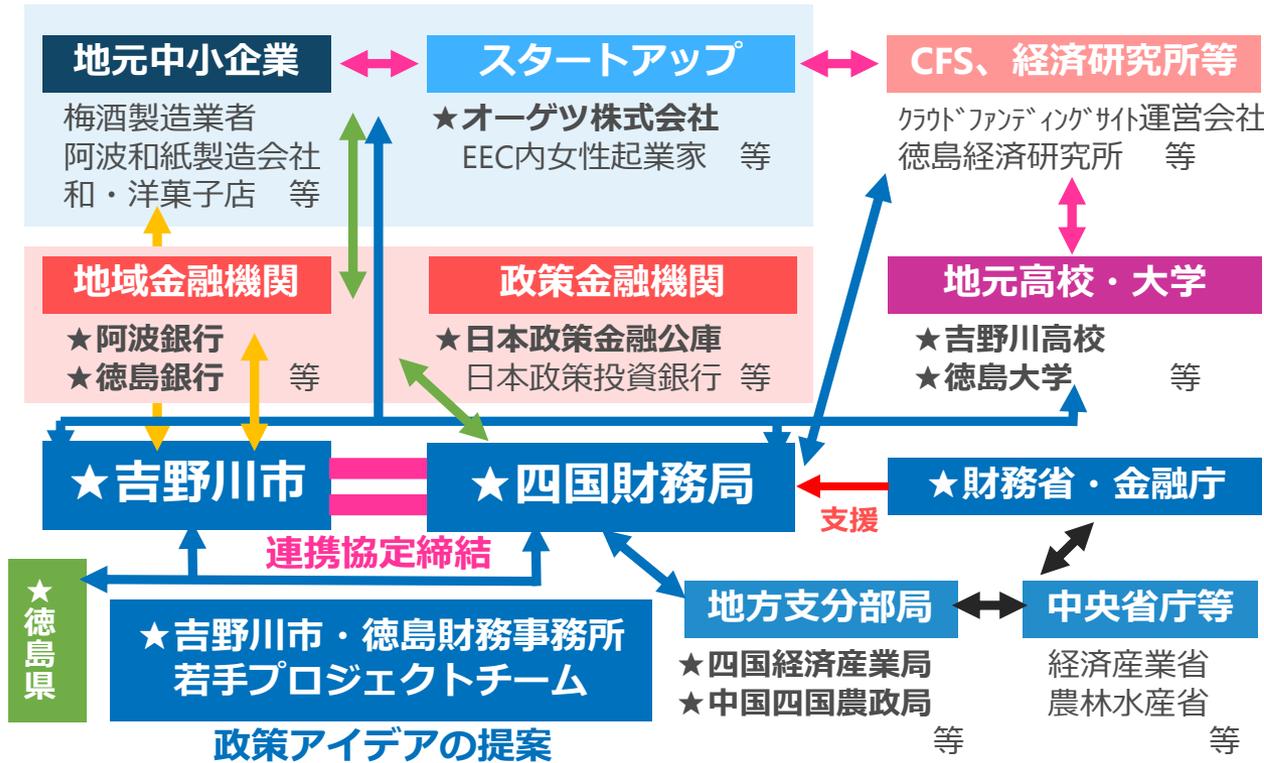
エシカル消費の普及・促進

- ・地域課題の洗い出し、解決案の検討等を通じた吉野川市への支援及び各連携主体をつなぐ役割等を通じた地域貢献

- ・地域経済活性化
- ・エシカル消費の普及、促進



- 財務局がそのネットワークを活用し「つなぎ役」に
- 相互補完関係を構築し、多面的に連携・共創



※現時点で、エコシステム形成に向けた今後の連携・対話を依頼済みの組織・会社・学校名の前に★を記している。

四国財務局が果たすべき役割

地域の課題把握を支援。各主体との「つなぎ役」を果たす。

金融機関に期待する役割

金融仲介機能の発揮により、地域の共通価値の創造に寄与。



実現に向けた動き

2018.12.18 (予定)
 吉野川市と四国財務局が連携協定締結。同日ワークショップを開催し、金融機関が実現に向けたより具体的な提言（財務省、四国経済産業局、中国四国農政局、徳島県も参加し意見交換）

徳島大学の教授及び学生が、エディブルフラワーの商品開発やマーケティングについて、私たちと連携して研究を進行中。吉野川高校との連携も図り、地域の将来を担う人材の育成につなげる。



課題① 若年女性人口の減少と合計特殊出生率の低さ

エディブルフラワー関連の事業展開では、女性ならではのセンスが求められ、多様な働き方（起業や短時間勤務等）が可能な、女性活躍の就労の場が新たに創出される。さらに、障がいがある人や高齢者等の雇用先ともなり得る。

課題② 食料品製造業の生産性と給与の低さ

LED栽培のエディブルフラワーが持つ強み（季節を問わずに栽培・安定供給が可能）を加工・販売過程で生かした製品開発や、特産品等とのコラボによる6次産業化で、付加価値を向上。地産地消などエンシカル消費の普及も重要。

課題③ 若者の新規就農者の減少

農業分野での実践的なIoT活用や6次産業化を学べる場を提供。エディブルフラワーを使用した商品開発や販売等を経験することで、地域への愛着心の醸成や、農業の6次産業化を見据えた新たな進路の選択肢を提示。

【EECが目指す吉野川市の未来】女性が多様な働き方の中でセンスを発揮し活躍する、若者が地域を好きになり進路の選択肢ともなる、そして、障がいがある人や高齢者等が自信とやりがいを感じることができる新たな産業・雇用の場が地域に創出される。既存産業・店舗等とのコラボにより新たな付加価値が生み出され、エンシカル消費の普及も進み、地元の食料品製造業や飲食店への波及効果が期待される。さらには、地元商店街でのイベント開催や市が実施するプロモーション等を通じて、交流人口が増加し、商店街への新規出店が進むなど、「しごと」→「ひと」→「まち」→・・・の好循環となり、持続可能かつ活力溢れる吉野川市を目指す。



松原 洋 酒巻 景介
元木 真弥 長谷 洋輔



竹治 翼 木村 亮介 池澤 貴之
元木 里渚 寺西 康博 宮前 亜依里

オーゲツ(株) 大栗社長、池田様と

徳島大学 内藤准教授・学生と



吉野川高校 桂校長、岩見教頭と